

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'18.6

ご挨拶 会員の皆様へ



同窓会会長 古谷 顯史郎

会員の皆様には、常日頃、同窓会活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、母校創立70周年の記念すべき年で有りました。

同窓会の事業としては、記念名簿の発行、記念誌「育み培い」の企画、編集、総まとめとデザインに田中元次顧問(竹早2期)、金子修也様(追分4期)、白石英行理事(31期)に参画して頂き先生方と協力し、歴史と伝統とその風土を爽やかに感じることが出来るスマートで、見やすく、読みやすい素晴らしい記念誌が出来上がりました。委員の皆様のご苦勞に感謝しております。部数に限りは有りますが、会員の皆様には、手に取って頂き中学校時代を思い出して頂ければ幸いです。

今年、4月10日の入学式で144名の新入生を迎え71年目がスタート致しましたが、昨年より学校、PTA、創竹会と同窓会で検討して参りました70周年に記念事業として積み残した体育館音響関連機器の更新、老朽化した床の張替え等体育館のリニューアルを5年後の75周年までに実施する計画を移行年でもあります。この事業は、概算予算で3,500万円が見込まれておりますが、同窓会としては今年度の予算に75周年記念事業費として500万円計上させて頂きました。また確定申告時に税控除出来る寄付を検討し、さらに母校を応援する為に広く皆様にお願ひ申し上げ、ご協力を賜りたいと存じます。

今年も例年通り、40期卒業の皆様が幹事となり同窓会総会、懇

親会が7月7日(土) 14:00より学校の多目的ルームで開催されます。会は、幹事の皆様のご尽力により年々盛況になっておりますので、多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

話は変わりますが、母校を取り巻く環境は、国立系附属学校としての存在意義の明確化が厳しく求められている様です。しかしながら、母校は、伝統的に自由と多様性の多い生徒と先生方のバランスが機能し、一昨年までの20年間研究と教育実践を行ってきた「幼少中連携教育」の成果が、教育界で注目を集めております。その教育実績が認められ今年度からは、東京学芸大学と協力して「経済的に困難な家庭状況にある児童、生徒へのパッケージ型支援に関する調査研究プロジェクト」という文科省による国家プロジェクトに母校が選ばれ品川区と連携して取り組む事になり、4名の新1年生が入学しております。この研究成果を期待すると共に、同窓会としても出来るだけの協力を惜しまないつもりです。

結びになりますが、母校の益々の発展、生徒諸君の成長と会員の皆様のご健康を祈念致しまして、ご挨拶とさせて頂きます。

30年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第40期(昭和64年卒)

- 日時/平成30年7月7日(土)
- 【受付開始】13時30分より
- 【第一部 総会】14時00分~14時30分
- 【第二部 懇親会】14時45分~16時15分

- 会場/竹早小学校1階 ランチルーム
- 会費/一般 2,000円
- ご招待 現・旧教職員の方々、高校生

母校創立70周年記念誌『育み培い』を会場で販売いたします。(販売価格1,500円)

※会場にて記念誌をお買い上げの方に限りオリジナルクリアファイルを進呈いたします。(なくなり次第終了いたします)

ご出席・ご欠席を6月28日(木)までに、同封ハガキにてご返信ください。
皆様のご参加をお待ちしています。

新たな道を目指して

学校長 丹 陽子



同窓会の皆様には日頃より大変お世話になっておりまして、誠にありがとうございます。本年三
月には創立七十周年記念式典を無事に挙行
させていただきました。ご協力誠にありが
とうございました。本年度も何卒よろしく
お願い申し上げます。

昨年十月の竹早小・中学校校舎より出火
いたしました火災につきましては、大変ご
心配をおかけいたしました。心よりお詫び
申し上げます。旧年中は学習環境の検査、
使用教室の確保等をはじめとして種々の困
難がございましたが、その後、年明けから
は全教室が普通に使用できるようになり、
学習への支障は来さない状況になりました。
職員室・事務室・校長副校長室は夏休
み期間中に工事を行うこととなっております。
今後はより一層安全管理に心がけて参
る所存です。

また本校は、平成二八年度より東京学芸
大学の「附属学校等と協働した教員養成系
大学による『経済的に困難な家庭状況にあ
る児童・生徒』へのパッケージ型支援に関
する調査研究プロジェクト」に参画し、教
材開発並びに授業研究を行って参りまし
た。これに加え、平成二九年六月に東京学
芸大学と自治体が締結した「児童の学習機
会の充実に関する協定」(GSP)に基づ
いて平成三十年より特別連絡進学を実施
し、その体制を確立するとともに、研究体
制の準備を開始いたしました。

自己実現への強い意志を持ち、自分の人
生を切り開いて行こうとする積極性と学習
意欲を持つ生徒たちが、置かれた状況に
よって断念することなく、成長していくこ
とのできる環境作りは、現代社会の重要な
課題の一つです。主体性を重視した園児・
児童・生徒の育成を長年にわたって行っ
てきた竹早地区の幼小中連携教育研究の土壌
の元に、このプロジェクトを進展させ、子
どもたちが希望を持って自己実現に向かっ
ていくことのできるモデルを構築すること
が、本校に課せられた使命と考えておりま
す。

同窓会の皆様には以上の趣旨にご理解を
賜り、今後とも一層のご支援ご協力をよろ
しくお願い申し上げます。

竹早で育まれるようになつて

副校長 森 顕子



「今いる場所も愉
しいけど、外に出て
みて、竹早のことが
ますます好きになり
ました。竹中、大好
きです。」

様々な代の卒業生が、頻繁に訪ねてきて
くれます。一人でふらりと現れたり、友達
数名で連れ立って来たり。そして笑顔で、
或いは涙を流しながら冒頭の言葉を伝えて
くれることがよくあります。同級生が娘息
子を受験させたが縁を持ってなかったことを
心から残念そうに話す姿に接したり、教え
子達が保護者となり、竹早育ちが二代三代
になつたりしていることを知る都度、今、

新任・退任の先生挨拶

● 退任挨拶

勝岡幸雄



今年の三月をもち
まして、副校長を退
任いたしました。

副校長としての三年間、様々な事に取り
組んできました。竹早地区のLAN整備、
創立七十周年記念事業、パソコン室の整
備、エアコン取り替え、そして四月より始
まりました東京学芸大学・自治体との連携
事業、等です。

そして、創立七十五周年記念事業を計画
しました。五年間をかけて体育館改修を進
めます。同窓会からの援助をいただき、今
年度は音響整備が行われます。心より感謝
いたします。今後とも変わらぬご支援をよ
ろしくお願いいたします。

鈴木 裕



三月末日を以って
定年退職致しまし
た。

在職中は、いろいろとご迷惑をおかけし
たにもかかわらず、温かなご指導とご厚情
をいただき、ありがとうございます。ま
がりなりに勤続することができましたの
も、職員の皆様、保護者・同窓会の皆様、
そしてよき生徒たちのおかげです。

教員生活の最初(教育実習)と最後の九
年間を竹早中学校で過ごせたことを、本當

に嬉しく思っております。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご活躍、そして竹早中学校の益々の発展を、祈念申し上げます。



堀内 泰

昨年度まで、大変お世話になりました。

わたしは現在、十年ぶりに公立の中学校で勤務しております。

ふり返れば、私が竹早と関わった期間は、小中学生であった9年間、バスケット部のアシスタントコーチとして関わった4年間、そして教員としての9年間の計22年間。これまでの人生のほぼ半分を竹早と共に過ごしてきた計算になり、自分でも驚いています。

今回は、竹早の外の『大海』を感じるために、過ごした環境から離れることを決意しました。竹早で学んできたことを活かし、広め、そして新しい環境からもまた、これまでと異なる価値観や考え方を吸収し、自分自身成長していきたいと思っています。

竹早の看板をさらに輝かせられるよう、外の環境で頑張ります！



猪俣 匠

昨年度は三学年所属、理科の教員として大変お世話になりました。

ました。思い返すと、全力で走り続けた、あつという間の一年間であったように思います。ただその一年間のなかで教員生活一

年目である私が、教師という仕事のやりがいや喜びを感じることができたのは、竹早に関わる皆様のおかげであります。今年度は生徒がなんと900人もいる学校に赴任しました。竹早からいただいた沢山のものを、今度は私が還元していこうと思います。本当にありがとうございます。

新任挨拶

新任挨拶



国語 荻野 聡

平成三十年度より竹早中学校に赴任いたしました。国語科の荻野 聡と申します。今年度は一年B組の担任をさせていただきます。

四月から、竹早中学校の生徒たちの澁刺とした笑顔と自然ににじみ出る折り目正しさには、ただただ感じ入るばかりで、伝統あるこの竹早中学校で働けることに喜びを感じています。

力不足の身ですが、多くの皆様のご助力をいただきながら、精一杯がんばってまいります。どうぞよろしく願いいたします。



国語 川嶋正志

平成30年度より、竹早中学校に赴任いたしました。国語科

の川嶋正志と申します。

3学年の学年担任ですが、授業は主に2年生を担当しております。部活動はサッカー部を担当しております。とても元気な

竹中生と過ごす日々は充実したもので、毎日学校に来るのが楽しみです。

皆様のお力添えがあつての充実した日々だと存じます。今後ともご支援のほどよろしく願いいたします。



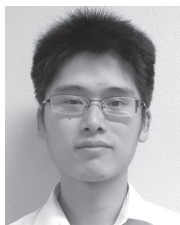
社会 齋藤貴博

平成30年度より赴任しました、社会科の齋藤貴博と申します。

第2学年の学年付きとして生徒と関わるほか、部活動はサッカー、陸上、水泳を担当させていただいております。

勉学や部活動に主体的に励む竹中生に負けぬよう、若さを存分に活かし、竹早中学校をよりよくするべく奔走して参る所存です。

先生方をはじめ、保護者の皆様、同窓会の皆様には何かとお力添えいただくことと存じますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



数学 佐々木陽平

平成三十年度より竹早中学校に赴任いたしました佐々木陽平と申します。担当教科は数学です。今年度は二年B組の担任を務め、男子バスケットボール部を担当しています。

赴任してからの一ヶ月は瞬間に過ぎました。竹早中の生徒が集団の中で主体的に行動する姿には驚かされる毎日です。今後とも同窓会や保護者の方々にはお力添えをいただきたいと思いますが、誠心誠意努めていきますのでこれからよろしくお願

いたします。



理科 金子真也

今年度より竹早中学校に赴任しました理科の金子真也と申します。2年C組の担任とバレーボール部の顧問を任せていただいております。

私は昨年度までの8年間、同じ学芸大学附属の小金井中学校に勤めておりました。

新しい環境に戸惑いながらも、竹早中学校の生徒たちの明るさ、和やかさと先生方や保護者の皆様の暖かさに支えられ、楽しい毎日をご過ごさせていただいております。同窓会の皆様、どうぞよろしくお願い致します。



理科 八坂 弘

今年度より、竹早中学校へ参りました八坂と申します。1

年生の理科を担当します。部活動はバドミントン部と卓球部の顧問を務めます。

竹早中学校へ赴任して驚いたことは新入生を迎える上級生の立派な姿でした。全ての行事を生徒たちで創り上げていく竹早中学校の伝統が、子どもたちを成長させていくことを強く感じました。

竹早中学校の伝統を引き継いでいけるよう精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

四十期 七夕通信

竹中の真価

鈴木忠明



竹早中学校の思い出で、何といっても挙げたいのは、「自由研究」とそれに繋がる「文研」です。生徒たちの努力の跡が良く分かる質の高い作品が多く、時には大学の卒業研究を凌ぐものも見られました。なかでも忘れられないものに、1989年の文研に発表された『3A 裕仁 激動の昭和史』という展示があります。当時昭和天皇の病状が連日放送されるなかで、問題を感じた生徒たちが、天皇の戦争責任を問うた内容のものでした。生徒たちは、3Aのクラス全体で取り組み、良く調べて、発表した見応えあるものでした。特筆すべきは、「先生たちはこう考える！」というタイトルで、教員たちにも質問してその諸意見を載せたことです。生徒たちの取り組みを教員たちも真摯に受け止め、評価しました。これらの事柄は竹中の教育の真価が良く表れていると思います。

いま、私は脳梗塞を発症し、日々リハビリに打ち込んでいます。卒業生の皆さんも人生思い通りにならないことが少なからずあることでしょう。しかし、それに負けないうよう、懸命に努力していけば、道はそれなりに開かれてくると思います。お互いに頑張っていきましょう。

あれから30年

川崎正夫



「昭和」が「平成」になった年が、君たちの卒業でした。入試のために作成した文書の「昭和」を「平成」に訂正したのを覚えています。今年は、平成30年なので、あれから30年経たのですね。

私は、その頃、30歳半ばでした。今の君たちよりも若かったのです。高萩・金山・京都、奈良の校外学習、運動会に文研。それから弁論大会もありました。部活に委員会、もちろん毎日の授業。君たちと過ごした、楽しく、忙しい日々でした。私にとっ

て思い出深い3年間です。

私は、今65歳、退職しましたが、いたって元気で、毎日、のんびり、ゆっくりと自由な時間を満喫しています。

君たちは、様々に頑張っていると思います。半面、厳しいことも多い年齢でもあるでしょう。まずは、健康に気を付け、さらに、ますます活躍されることを、お祈りいたします。



お元気ですか

池田正雄



昭和から平成に変わった年の三月、皆さんは竹早中学校を巣立って行きました。時の経つのは早いもの、あれから三十年が過ぎてしまいました。

皆さん、お元気ですか。社会人として各方面で活躍されていると思います。私達が皆さんと竹早で共にした頃は四十歳前後でしたが、十年前に定年退職し、昨年古希を迎えました。退職後、健康維持のために始めた毎日のウォーキングが功を奏してか、お陰様で大病もせず元気に過ごしています。

この文章を書いていると当時のことが少しづつ甦ってきました。二年生の校外学習は福島県金山での農業体験。その年の夏休みには希望者で収穫体験に行ったりもしました。残念なことに私は胆石の手術で行けなかったことが心残りです。優勝を目指しクラスごと頑張った運動会、合唱コンクール。優勝をしてもしなくても、一心に前向きで頑張ったことで得られた充実感。担任としてもいい三年間を過ごさせてもらったなあとつくづく思います。

四十五歳になる四十期生の皆さん、夢を持ち続け一歩一歩前へ進んで行ってください。ご活躍をお祈りいたします。

追伸：三年A組の皆さん、卒業のとき頂いた色紙は部屋に飾ってあります。「池セン起きろ！」と皆さんの声が録音されている目覚まし時計、今も健在です。私の宝です。

平成元年 当時の 授業風景



鈴木忠明先生 (社会)



山中和人先生 (数学)

竹早中学校の思い出

池田由紀



竹早中学校卒業から早30年近く…。いくつかになっても思い出す光景がある。夏休み、友人たちと学校のプール開放に毎日のように通ったことだ。真っ黒になって1日中、本当によく遊んだ。授業にしても部活にしても竹早は実に自由だったと思う。間違ひなくこのとき、「のびのび思いっきり精神」が自分のなかで培われた。社会人となり、仕事が少し大変で窮屈なときや、悩み、立ち止まったとき不思議とふとあの日々が思い出され、またあすへの活力となつてゐる。何なのか、うまく言葉で表現出来ないのだが…いまは意識してももはや手に入らない「自由」に対する憧憬かな…。そんな経験が中学時代という多感な時期にもてたことは人生のまさに宝物。先生方や友人たちには感謝してもしきれない。

七夕に集いませんか



竹早中学校サッカー部の思い出
マラドーナとキャプテン翼に
魅せられたバブル時代

井口幹夫



漫画「キャプテン翼」で育つた世代の私がサッカー部に入学した1986年の初夏にちょうどW杯サッカーメキシコ大会が開かれた。NHKのBS1が試験放送を始めて「衛星放送」という新しい技術が人々を魅了した当時、サッカー部の先輩方はゴールをすれば同大会で英雄となつた「マラドーナ！」の名を叫び、膝を突きガッツポーズをしていた。ゴム張りの硬いグラウンドでよりによってGKを志願した私は、練習で容赦なくPKスポットよりも近い距離からのシュートを次々と決められていた。横っ飛びをマスターしようとしたが、かつてあの硬いグラウンドで着地に失敗して内臓破裂に遭つた人のエピソードを聞き、青ざめた。校舎の近くに当時サッカー用具の大手で、屋上に不思議なサッカーボールの形のタンクを載せたYasudaの社屋に走りに行き、購入したボールを部員が大事そうに一球ずつ抱えてグラウンドに戻つた。

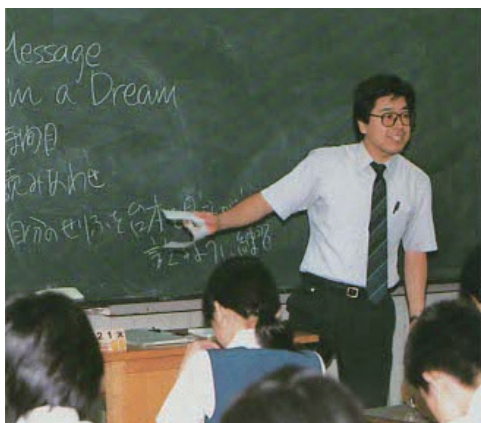
文京区の地区大会に出ても一勝を挙げることがやつと。四附属中大会に出ても四位が定位置だった。2年生の時に控えGKだった時に急遽出場し、ポロポロに失点し、悔しさの余り泣いた。翌年の四附属中大会では正GKとして出場し、好守を見せられたものの、世田谷中に5失点を喫し、大会最優秀GKは後に附高で親友となった同中のGKに渡つた。大会後に顧問の西原口先生が特別表彰をしてくれたのが嬉しかった。優秀な先生方や仲間にも困り、ともすれば天狗になりやすい環境だったが、

思つたように上手くないかない時に謙虚に学ぶことを教わつたように思う。

『七夕に集いませんか』

担当幹事より

「平成元年」幹事学年である私たち40期生が竹早中学校を卒業した年です。割れて地面がみえた教室の床板、離れにあった音楽室への不思議な渡り廊下、休み明けには塗りなおされたオイルでつるつるしていたケヤキ板の階段、ドクダミ色の女子夏服、当時としては斬新だったナイロン製の通学カバン、上履さが紺色のスポーツシューズだったこと…覚えていますか？友達、先輩、後輩、先生方と過ごした中学時代の3年間の思い出は、こうした懐かしい記憶と共に私たちの中で大切な宝箱にしまわれています。卒業後、何年・何十年ぶりでも、再会すれば時間を一瞬で超えて当時の私たちに戻れる。竹中のつながりはそんな不思議な力を持つてゐると感じます。平成最後の同窓会、奇しくも七夕の日の開催となる「平成30年度同窓会」に、皆様お誘いあわせの上ぜひご参加ください。幹事一同、心をこめたおもてなしでお迎えいたします。学年を超え、皆さんの中にしまわれてゐる宝箱を開けて懐かしい思い出を語りあうひと時をご一緒に。そして同期の皆さん、この会を大いに盛り上げるための力をお貸しください!! 再会を楽しみにしております。



池田正雄先生（英語）



川崎正夫先生（国語）



山村喬子先生（音楽）

平成29年同窓会総会報告

39期 幹事一同

平成二十九年七月八日、平成二十九年
度竹早中学校同窓会総会が、ランチルーム
にて開催されました。今回も、多くの同
窓生、新旧教職員の方々にご参会いただき、
大変盛況となりましたこと、この場を借り
て皆様に御礼申し上げたいと思います。有
難うございました。

第一部・第二部ともに、お陰様を持ちま
して無事に進行できました。第一部の総会
では、5年後の四分の三世紀記念となる75
周年記念に向け、竹早中学校体育館の大々
的な改装計画などが発表され、同窓会とし
て一層協力していく気持ちになりました。
第二部では、39期同窓生の工藤陽代氏（警
視庁）より、大変興味深い講演をして頂き
ました。



会の運営にあたって、本年度は39期生が
担当させていただきましたが、多数の同期
生に快く協力を頂き、諸先輩方に負けず
劣らずの結束力を発揮でき、嬉しく思
います。運営にあたってアドバイスして
いただいた本部役員の方々、前年度幹
事学年で

あった38期生の先輩方には、本当にお世話
になりました。有難うございました。
今後も竹早中学校同窓会のみならずの発
展を祈念して筆をおきたいと思えます。



平成29年度 同窓会活動報告

4月10日 入学式出席

古谷会長他出席（お祝い金1万
円）

4月22日

第1回理事会

年間行事予定報告・名簿につい
て（6月上旬入稿・下旬印刷完
了及び発送予定）ラッシュアップ
（5月29日入稿・6月10日発送
完）・総会（7月8日に決定）懇親
会（6月30日に決定）について卒
業記念品贈呈式・卒業式・入学式
出席報告70周年記念行事について
（検討委員会メンバーに参加）19
期安井氏新常務理事就任承認
第2回理事会

6月10日

総会準備に向けて・フレッシュアッ
プ発行発送完了報告（9,000
部）・名簿入稿完了報告（2,
000部発行定価3,000円

6月30日

送料込）・70周年記念について（記
念式典への出席・記念誌製作への
協力・体育館床貼替・音響工事他
の資金協力について）
先生方との懇親会

7月8日

ピストロ ウーベルチュール（新大
塚）20名出席
同窓会総会
クラブ活動援助金贈呈

9月9日

第3回理事会

総会報告・名簿報告（106名
申込あり理事会后発送作業）・
70周年記念事業への補助金につ
いて（特別予算40万・特別補助金
30万）
運動会

9月23日

会長他出席（お祝い金1万円）

11月4日

文化研究発表会

11月18日

会長他出席

11月25日

3年生保護者会
入会に關しての説明（古谷会長）
創竹会と合同

11月25日

第4回理事会

3年生保護者説明会報告・卒業
記念贈呈式について・新年会につ
いて（1月20日に決定）・70・75周年
記念行事についての学校との話し
合い報告・10月6日の火災につい
ての説明

1月20日

新年会

3月13日

後楽園飯店
卒業式予行出席

3月14日

卒業式出席

古谷会長他出席（お祝い金
1万円）

常務理事 選出のお願い

同窓会理事会は、常務理事の募集をして
おります。理事会名簿でもご覧頂ける様に、
様々な年代の方々が、色々な部会で、活躍
しております。

同窓生の一番の宝は、「共に学んだ友」と
「帰って来られる母校」の二つです。同
窓による一種の共通の価値観を持っている
と思われる様々な年代、キャリアの方々との
語らひは、刺激的で且つ興味深く、是非
同窓会の活動にご参加下さい。

新しい事に一歩踏み込まれてはかがで
すか？ご参加を、いつでもお待ちしております。

同窓会部活動援助金について

同窓会部活動援助金につきましては、今
年度は次のような備品・活動に使わせてい
ただきました。

- 卓球台（卓球部）
- グロッケン鉄琴（吹奏楽部）
- 楽器修理代（吹奏楽部）
- タイマー修理代（水泳部）
- 全国大会出場選手の補助費（水泳部）

・69期生 松本信歩
今年度も、全国大会をはじめ各大会で活
躍し、都大会に出場する部がありました。

また、それぞれの個性豊かな活動が先生方
によって支えられています。例年このよう
にあたたかな応援をしていただき、御礼申
し上げます。

今後とも引き続き、部活動に対するご支
援をどうぞよろしくお願いいたします。

教育後援会 「創竹会」からのご挨拶



創竹会副会長
村上 一路

同窓会会員の皆様には平素より竹早中学校教育後援会「創竹会」の活動にご理
とご協力を賜り、篤く御礼申し上げます。

皆様からの寄付は、奨学寄附金ならび
に教育研究活動補助金として、ICT
関連設備の更新やソフト資料の充実を始
め、教科の備品・消耗品、新刊図書購入、
空調設備の保守や教室校舎の修繕、事務
用品や印刷関連費などに役立させて頂い
ております。

竹早中学校は昨年度創立70周年をお祝
いしましたが、4年後の2022年には
75周年を迎えます。同窓会・PTA・
創竹会は学校に協力し、創立75周年記念
行事・事業に向けた支援活動を展開して
参ります。その記念事業の柱に「体育館
の改修」を掲げ、まず本年度は体育館の
音響改善に着手致します。

先細りする国から大学への運営交付
金、35人学級の実施による生徒数の減少、
国立附属学校のエリート教育批判など、
附属中学を取巻く教育環境は大変厳しい
状況にあります。同窓会の皆様には「創
立75周年記念事業」へのご高配も賜り、
更なるご支援をお願い申し上げます。

創立70周年 記念委員会について

平成30年3月6日 創立70周年記念式
典が学校の体育館において行われまし
た。開催に向けて古谷会長・田中顧問・
白石理事が記念委員会に参加し、記念誌
と生徒への同窓会PRポスター作成を行
いました。PRポスターは学校内校長室
横に掲示されています。



創立70周年記念誌について

創立70周年記念誌を販売致しますの
で、懐かしい母校の活動や同窓生の座談
をお楽しみ下さい。振込用紙よりお申込
み頂けます。(なお在庫に限りがありま
すこと、ご了承下さい)



記念誌4000円
(記念誌代+30年度維持会費+送料)

平成30年度 予算案

(自平成30年4月1日
至平成31年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	13,125,810	Ⅲ 本年度支出	8,690,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,500,000
普通預金	2,438,790	総会・懇親会開催費	650,000
郵便貯金	7,439,303	常務理事会費	50,000
小口現金	247,717	総務費	70,000
		文書事務費	70,000
		郵便連絡費	150,000
		慶弔費	90,000
Ⅱ 本年度収入	2,950,200	卒業記念品代	140,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,500,000	技能強化支援金	100,000
同窓会活動支援寄付金		名簿入力・追録費	150,000
	500,000	ホームページ作成・維持費	
維持会費	800,000		120,000
総会・懇親会会費	100,000	75周年記念事業準備費寄付	5,000,000
預金利息	200	差引残高	7,386,010
名簿売上	50,000	Ⅳ 次年度繰越	7,386,010
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	1,000,000
		郵便貯金	3,000,000
		小口現金	386,010
合計	16,076,010	合計	16,076,010

注:(1)送料を含む

平成29年度 会計報告

(自平成29年4月1日
至平成30年3月31日)

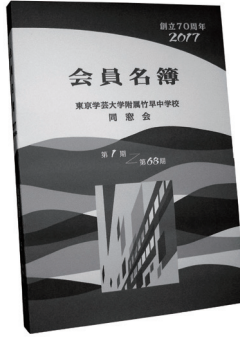
収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	13,884,613	Ⅲ 本年度支出	4,545,291
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,343,937
普通預金	3,568,415	総会・懇親会開催費	255,771
郵便貯金	6,920,203	常務理事会費	12,395
小口現金	395,995	総務費	64,452
		文書事務費	85,990
		郵便連絡費	167,552
		慶弔費	43,380
Ⅱ 本年度収入	3,786,488	卒業記念品代	119,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,590,000	名簿入力・追録費	62,337
同窓会活動支援寄付金		ホームページ作成・維持費	
	630,080		107,436
維持会費	1,040,100	名簿作成費	1,620,000
総会・懇親会会費	146,000	70周年記念行事作業	63,041
預金利息	308	差引残高	13,125,810
名簿売上	380,000	Ⅳ 次年度繰越	13,125,810
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	2,438,790
		郵便貯金	7,439,303
		小口現金	247,717
合計	17,671,101	合計	17,671,101

注:(1)送料を含む

名簿部より

同窓会名簿販売について

創立七十周年を記念した「2017年版同窓会名簿」を発行しています。同窓生の交流を応援するツールとして、振込用紙よりお申込み下さい。なお、名簿にはナンバリングが施され、同窓会でも管理していますので、廃棄など十分ご注意ください。2017年版同窓会名簿販売価格 50000円（名簿代+30年度維持会費+送料）



2017年版同窓会名簿における同窓生の追記について

同窓会名簿は、卒業時に頂きました情報をもとに管理しています。個人情報保護法に基づき、下記記載の通り管理運営を行っており、再調査の結果、同窓生の追記を行いましたのでご報告致します。なお、今後はいずれの理由においても、卒業生氏名を削除はしないと致しますので、ご理解の程よろしくお願致します。

追記者名簿

期	組	姓	名	旧姓
1	竹早	山本	恒	
1	追分	宇田川	治宣	
1	追分	佐藤	千代子	松浦
3	竹早	伊藤	涼子	池内
3	竹早	山岡	みどり	島津
3	竹早	亀谷	道子	丸山
3	追分	新井	志津子	富盛
4	竹早	笠井	三幸	甲原
4	竹早	五月女	雅子	難波
4	追分	柳沢	久	
4	追分	辻本	ゆき子	反町
4	追分	布村	春美	丸山
5	竹早	田和	榮	磯野
5	竹早	稲葉	富美子	山田
6	A	田中	恭子	菊地
6	A	阪本	光子	和田
6	C	角田	友子	風間
6	D	永松	紀義	
7	A	河口	良明	
7	A	茂垣	祥子	西江
7	B	花園	久美子	坂東
7	D	野本	維一	
8	A	金内	明子	
8	C	島田	保之	
8	D	西郡	洋子	田中
9	C	田中	玲子	小泉
10	B	湯川	洋	
10	C	山縣	素一郎	坂本
11	A	板垣	徹也	
11	A	藤井	庸太郎	
11	A	野村	千夜子	阿部
11	C	笠原	みち子	川口
11	C	石渡	尚子	豊田
13	C	大野	雅子	
13	D	春本	典昭	水間
14	A	久保田	正之	
14	A	古田	恒雄	
14	B	小澤	恭子	伊藤
15	A	高尾	真由美	金子
15	A	中村	志江	郷戸
15	C	五十嵐	盛春	
15	D	今井	豊子	
17	B	工藤	泉	関戸
19	A	森山	早苗	馬場
19	B	石田	光信	
19	D	上原	正子	
20	A	松村	はるみ	高橋
20	B	石田	恵子	浜辺
20	B	白鳥	まゆみ	横山
23	D	森川	弘太	
25	B	土屋	弘子	原田
25	D	大澤	いずみ	
26	A	白戸	明美	
26	B	高石	雅	
27	B	福田	淳子	三輪
27	D	上野	富士子	奥村
32	A	唐澤	太郎	
32	A	吉久	薫	千葉
32	D	熊谷	みづほ	河合
34	D	田端	仁美	金子
39	D	林	鎌太郎	
40	D	関根	信孝	
41	B	松本	裕介	
41	B	山田	美雅	神谷
41	C	松本	華子	高柳
48	C	磯崎	陽子	
49	D	鈴木	千佳	
57	B	太田	寿明	
58	A	村岡	玲奈	
58	D	渡邊	涼	
59	A	清水	美佐	
59	B	師田	まりえ	
59	D	佐藤	優	
60	A	板谷	朋亮	
60	B	柏木	聖生	
60	C	五味	寛子	
61	B	飯田	優輝	
61	C	蔭	可心	
62	A	三浦	昌平	
63	C	川村	和花子	
64	B	吉田	万穂	
64	C	石井	陸	
64	D	田端	美芽	
65	B	塚本	恵	
65	B	長谷川	天音	
66	C	大澤	伊世	
67	B	久保田	誠大	
67	D	須藤	楽人	
67	D	大住	仁愛	
67	D	杉山	夏希	

名簿デジタルデータ更新について

- 「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。
 - 同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会総会返信書にて、毎年調査を行い、変更事項について更新致します。
 - 随時、郵送又はメールにてデータ提供をいただいた場合、更新致します。
 - 自分の住所等の変更があった時
 - 2017年版名簿に記載誤りがある時
 - 2017年版名簿に友人の空欄（消息不明）をお知らせいただける時
- ※なお、ご本人が公表拒否を希望されている情報は、同窓会への管理とさせていただきます。

【連絡先】

- 〒112-0002
東京都文京区小石川4-2-1
東京学芸大学附属竹早中学校
同窓会名簿部 白石 英行 宛
E-MAIL bunkyo@mail.nj.jp
- ④ デジタルデータ更新は年2回（4月・9月）行います。

■ 同期会開催へのデータ提供について
各年次委員に限定し提供致しますので、右記の名簿部 白石 英行までお問い合わせ下さい。

平成30年度 同窓会常務理事

役職	氏名	任期
会長	古谷 顕史郎	13
副会長	松岡 隆司	14
顧問	村上 一路	13
	二瓶 好正	7
	田中 元次	2竹
	三嶋 明	13
監事	高柳 良夫	3竹
	高島 正子	7
総務部	白江 千治	26
	神沼 厚史	40
事業部	高柳 良夫	前掲
	三嶋 明	前掲
	田中 充	29
広報部	野島 雅	41
	小菅 昭彦	27
名簿部	田上 陸美	33
	関根 青磁	38
	安井 肇	19
	白石 英行	31
会計部	関根あすか	36
	正野 敬子	19
	永井真知子	19
	石黒由香里	26

維持会費同窓会支援寄付金 ご協力のお願

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもってこれにあてる（同窓会会則22条）。29年度の収入は約379万円、支出は約455万円でした（平成29年度会計報告参照）。収入内訳は、入会金159万円、維持会費約104万円、同窓会活動支援寄付金約63万円、その他約53万円でした。維持会費は、毎年20000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。なお、払込住所氏名欄の住所・氏名・卒業年度の記入をお忘れなく（毎年払い込みください）。

編集後記

最近よく働き方改革に関する記事を目にしますね。副業を企業が促進したり、企業の中の在宅勤務制度とったり。考えてみれば学校の二番変化が遅いかもかもしれません。ただ教育の影響はとて大きいので、子供たちが将来も生き生き働ける考え方を伝えてほしいですね。

同窓会ホームページを「活用ください」。
<http://www.takahaya-jhs-dousoukaikai.net/>